



しんきん大阪システムサービス株式会社

発行 〒530-0003 大阪市北区堂島2丁目4番27号 JRE堂島タワー2階
TEL 06-6458-0666 FAX 06-6343-4699

第30回定時株主総会

当社では、6月29日（木）にホテルグランヴィア大阪におきまして、「第30回定時株主総会」を開催いたしました。

当日は報告事項のご報告と、決議事項についてご審議いただき、全議案とも承認可決されました。

また、本総会におきましては、取締役全員の任期満了に伴う改選が行われ、引き続き開催されました第135回取締役会にて役付取締役が決定し、役員名簿のとおり就任いたしましたので、ご報告申し上げます。



報告事項：第29期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）事業報告の件

昨年度は、ウイズコロナの下で消費と設備投資が緩やかに持ち直したが、ロシアのウクライナ侵攻等による原材料価格の高騰や円安による輸入物価の上昇は国内の物価を押し上げ、家計・企業の活動に影響を与え、また世界的な金融引締め動きによる海外の景気減速も懸念されるなど、コロナと物価上昇に翻弄される一年でした。

このような状況のもと、当社は、地域ニーズを反映した新たなサービス業務の提供と既存サービス業務の安全確実な運用に努めるとともに、信用金庫との情報交換の場である地区別サービス業務懇談会を3年振りに対面で開催いたしました。

2022年度の主な取り組みとしては、8月に企業自振データ交換処理サービスにおいて、INS回線廃止後の後継回線に対応したシステムへ更改するとともにデータ伝送企業に対して接続切替を推進し、手形・小切手発行サービスにおいては、11月の電子交換所稼働を機に券面にQRコードを印字した共通

用紙へ変更を行い、為替集中サービスにおいては、クラウド型のしんきん為替BPOサービスへ全てのご利用金庫に移行していただきました。

さらに、新たなサービスとしては、少量のDMはがきを共同利用型で安価に作成する「未利用口座管理手数料徴求DM作成サービス」を2023年3月に提供したほか、マネロン・テロ資金供与対策における継続的顧客管理を支援する「取引目的確認支援サービス」に関して、法人向けオプションを2023年4月の提供に向けて、本サービスご利用信用金庫と検討会を重ね準備を進めてまいりました。

一方、リスク管理態勢の維持・強化として、システムリスク管理態勢の有効性について、第三者の客観的な評価を得るため、2月にEYストラテジー・アンド・コンサルティング(株)によるシステム外部監査を受検するとともに、情報セキュリティ教育やシステム障害、大規模災害の発生を想定したBCP訓練を実施いたしました。

以上の結果、2022年度の年間売上高は20億13百万円、経常利益は1億43百万円、当期純利益は97百万円（前年比13百万円減）となりました。

これも偏に株主信用金庫をはじめ関係機関の皆様のご支援、お引き立ての賜物と深く感謝申し上げます。

今後につきましては、インボイス制度の導入、電子

帳簿保存法の義務化、INS回線の廃止など期限までに遅滞なく対応するとともに、信用金庫との連携を密に長期的な視点でより良いサービス作りを目指してまいります。

今後とも、引き続きなお一層のご支援とお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

決 議 事 項

第1号議案 2023年3月31日現在 貸借対照表、第29期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）損益計算書、株主資本等変動計算書、個別注記表 承認の件

第2号議案 剰余金の処分の件

第3号議案 定款変更の件

第4号議案 取締役全員の任期満了に伴う次期取締役選任の件

第5号議案 監査役選任の件

役 員 名 簿

しんきん大阪システムサービス株式会社 役員

2023年6月29日現在

代表取締役会長	翁 長 自 夫（永 和 信用金庫 理事長）	昇任
代表取締役社長	別 部 元 昭	昇任
取 締 役	松 岡 文 雄（新 湊 信用金庫 理事長）	新任
〃	石 田 雅 裕（はくさん信用金庫 理事長）	新任
〃	濱 詰 健 二（小 浜 信用金庫 理事長）	
〃	矢 島 之 貴（湖 東 信用金庫 理事長）	新任
〃	須 戸 裕 治（北おおさか信用金庫 理事長）	新任
〃	田 谷 節 朗（きのくに信用金庫 理事長）	
〃	石 村 健（淡 路 信用金庫 理事長）	
〃	佐 竹 義 治（阿 南 信用金庫 理事長）	
〃	渡 邊 毅（幡 多 信用金庫 理事長）	
常 勤 取 締 役	池 田 圭 介	
監 査 役	多 賀 隆 一（大阪商工信用金庫 理事長）	新任
〃	桑 田 純一郎（但 陽 信用金庫 理事長）	
常 勤 監 査 役	福 田 茂 樹	

なお、代表取締役社長 若槻 勲、取締役 鈴木正俊、山本英司、監査役 片桐 陽 は、6月29日開催の定時株主総会をもって退任いたしました。在任中賜りましたご厚誼に対し、厚く御礼申し上げます。

OSSサービス業務ご利用の声

—— 未利用口座管理手数料徴求DM作成サービス ——

にいかわ信用金庫 事務部の皆さんのお話

■ご利用の目的とその経緯をお聞かせください。

最初は、金庫で印刷し、封書形式で郵送することとも考えましたが、既存口座も対象とする為、初年度は発送件数が多いことから職員が封入作業を行うとなると、誤封入等のリスクがあり、事務負担も増えるため、外部委託することとなりました。

OSSのサービスは基本料が安く、印刷会社へ直接委託するより、安価に作成できるため、利用を決定いたしました。

■ご利用にあたって懸念された点は？

OSSのサービスを利用することにおいては、特に懸念した点はありませんでした。

ただ、DMを受け取ったお客さまから、多くの苦情が来るのではと心配しておりましたが、お客さまからの問合せは、ほとんどが通帳・印鑑紛失手続きと解約方法に関するものでした。

■本サービスのご感想をお聞かせください。

本サービスは、しんきん共同センターが還元するDMデータの受領から郵便局出しまで対応しており、職員が運用に介在することが少ないため、事務作業も増えず、大変助かっております。

このサービスのように、基本料が安く、利用しやすいサービスの提供をこれからもよろしくお願いします。

ご利用ありがとうございました。



【担当】業務企画部・業務課

—— 共同利用型ATM電子ジャーナル集中管理サービス ——

幡多信用金庫 事務部の皆さんのお話

■ご利用の目的とその経緯をお聞かせください。

当金庫では、ATMジャーナルを紙媒体で管理していたため、保管場所の確保や、紛失・誤廃棄のリスクの問題を抱えており、定期的なジャーナル交換作業も職員の事務負担となっていました。

本サービスを利用することでジャーナル管理に関するリスクが回避でき、職員の負担軽減にも繋がると考え、利用を決定いたしました。

■ご利用にあたって懸念された点は？

個人情報が含まれるデータを外部で管理することになるため、セキュリティ上の問題がないか確認させていただきましたが、専用回線のOSSネットワーク経由でジャーナルデータを収集しており、専用のサーバに暗号化して保存しているため、安心して利用しています。

■本サービスのご感想をお聞かせください。

紛失や誤廃棄の心配がなくなり、ジャーナル用紙の購入コストも削減できました。また、本部で簡単にジャーナルデータの照会ができるようになったので、とても便利になりました。

ATM監視回線のINS回線廃止の対応として敷設したOSSネットワークを有効活用できるのも良い点だと思っています。

今後も引き続き、事務効率化に繋がるサービスの提供をお願いします。

【担当】ATM監視センター・自動機サービス課

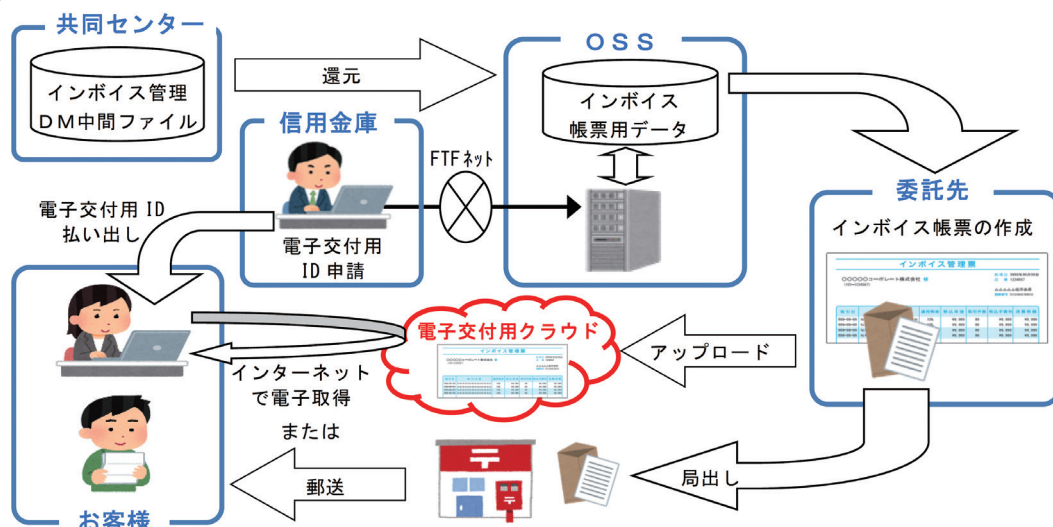
インボイス制度DM作成サービスの提供について

本年10月よりインボイス制度が開始となることから、当社ではしんきん共同センターから月次で還元される「インボイス管理DM中間ファイル」をもとに、共通仕様のインボイス帳票を作成する新サービスの提供準備を進めております。

本サービスで作成するインボイス帳票は、封書による郵送はもちろんのこと、ペーパーレス化推進の一環として、電子データによる交付も可能といたします。

詳細につきましては、改めて通知文にてご案内させていただきますので、是非ともご利用・ご検討賜りますようお願い申し上げます。

【サービス概要】



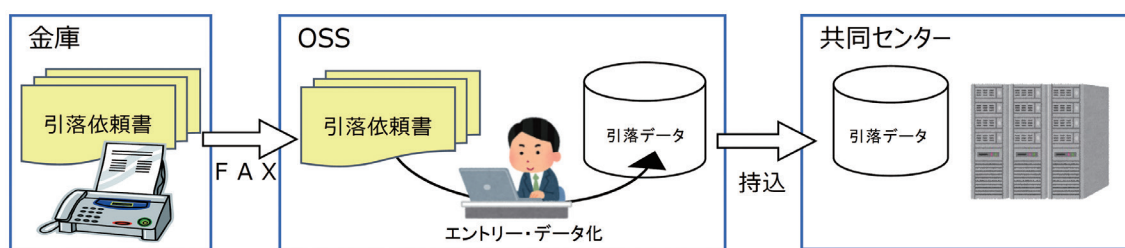
【担当】業務企画部・企画営業課

紙自振の取扱いについて

当社が処理している企業自振および金庫持込自振は、データ交換（伝送または電子媒体の持込）のみに対応していましたが、信用金庫に紙媒体で持ち込まれ、職員がデータ入力している引落依頼書についても、当社にて取り扱うこととしました。

2023年度第3四半期に一部信用金庫にて試行運用を行い、その後、正式に取扱いを開始する予定となっておりますので、取扱開始時期や処理料金等のご案内については、もうしばらくお待ちください。

【サービス概要】



【担当】業務サービス部・自振交換課

編集後記

最近、新聞や雑誌でよく取り上げられるAIチャットサービスですが、無料で利用でき、自然な会話やプログラミングなどもできるため大きな話題となっています。

そこで、私もAIチャットサービスに「7月に発刊する広報誌の編集後記を書いて」と指示を与えてみました。すると返ってきた答えは、「暑い夏がやってきました ～省略～ 熱中症にはくれぐれもお気をつけください。十分な水分補給と適度な休息を心掛け、安全な夏をお過ごしください。」と、それなりの文章が返ってきました。そして、編集後記を書くポイントとして、「読者に感謝の気持ちを伝えることが大切!」とAIチャットサービスから教えられました。

みなさん、いつもOSSニュースをご愛読いただきありがとうございます。これからも、信用金庫に役立つ情報の発信を心掛けてまいりますので、引き続きよろしくお願い致します。

OSSLINEアカウント



友だち募集中!